

令和2年度ひびき保育園 自己評価詳細

○運営管理

- ・保育士不足が続き、年度の途中で休職者が出るなど職員体制を安定させることができなかつたため、職員に超過勤務をお願いするなど負担をかけてしまった
- ・来年度も雇用が安定しないため、受け入れられる子どもの人数を減らして運営し安全に保育ができる環境を整える
- ・職員にもゆとりのある職場を目指して新たに休憩室を設けた。実際今の休憩室のものを新しいところに移すなど新しい部屋で休憩をとる姿はないが今の休憩室が少し広がったため職員にゆとりができるとよい。新しい休憩室にエアコンがあるため洗濯物が干せるなど今までコインランドリーに行っていた手間が削減できた。

○安全・危機管理

- ・ホールの端にあったトイレをなくして、ホールのスペースを広げ、子どもたちが遊べる空間や行事の時に少しでも空間を有効的に使えるようにレイアウト変更を行った。
- ・新型コロナの影響があり、おもちゃなどの消毒がより徹底された。引き続き感染症対策として手洗い・うがい、消毒を行うようにしていく。
- ・夕方の自由遊びが広がり子どもたちの行動範囲が変わったことでの危険箇所増えるためヒヤリハットなどを元に迅速に対応していく。

○保育環境

- ・園庭のプライバシー保護のため設置していたよしずの劣化が進み、破損が多くなってきたので撤去した。
- ・ホール、3Fテラスの遊び環境に変化を持たせて遊びの工夫ができるようにした。
- ・昨年度はな・にじクラスが障害物で遊べる環境を1階の廊下に作ってみたがさらに障害物を増やしたり、本の部屋の玩具を変更したりと年齢や子どもたちに合わせて変更していった。
- ・ホールのスペースが広がったのをきっかけに、椅子や机の収納場所を変え巧技台をホールに出しっぱなしにすることで常にホールが遊べるスペースになるようにした
- ・3Fテラスの手作り遊具が劣化していたため、新しいものに変更する。

○保育内容

- ・新型コロナの影響もあり、保育参加や運動会、たのしマス会など保護者が参加できない行事があった。
- ・行事に関してはDVDの配布をするなど別の方法でお知らせを行った。普段の様子については写真などに記録していたがそれぞれのクラスによって記録の量が様々だった。来年度は職員が手軽に記録できるようにカメラの台数を増やしたりなど対策を検討する。
- ・午後のおやつ後の自由遊びが充実してきたと思う。それぞれの興味に合わせた環境設定の中で子どもたちが選択して遊べるようにしていった結果、子どもたち全体がのびのび遊べている姿が多くみられた。だが、それに伴うケガやヒヤリハットが見られ今後の課題になった。活動を縮小するのではなく職員配置や時間の区切りなど違う方面から検討していく。

○食育

- ・プランターの置き場検討し今年でやってみた結果、気候のおかげもあったのか豊作だった。来年度も同じ場所で栽培を行うことで子どもたちの目につきやすく水やりなどの世話しやすいようにする。ただ検討事項として野菜の種類が多種にわたっていたので、身近な種類で普段食する野菜を育てていくようにしていく。
- ・新型コロナの影響もあり、クッキングの回数が限られてしまったがもともとの担任によって回数の違いがあるということがなくなった。各クラス栄養士が考えてくれた活動が取り入れられたと思う。
- ・衛生上の観点もあるが、プランターの野菜をとれたてのまま生で食し、苦みや甘みを経験できその後調理することで硬さや味が変わる経験などが少しだけできた。プランター栽培ならではのとれたて野菜の味など経験が今後できると良いと思う。

○子育て支援・地域交流

- ・新型コロナの影響で施設開放などに制限が入り、前半は例年通りではできなかったが、後半は通常開催するが参加者は少なかった。
- ・一時保育は昨年同様保育ニーズの落ち着きにより利用人数の減少が見られたが、長期休みなど幼稚園組の利用があった。ただ来年度以降利用が減ったため、緊急保育を再開して、本来の一時保育ニーズに対応できるようになると思う。
- ・今年度はアプローチリーダーをたて、年長が小学校と幼稚園との交流をより深めようとしたが、新型コロナの影響もあり例年みたいな交流はできなかったが手紙のやりとりを行うなど、できる範囲で交流を行えた。来年度はまた形が変わると思うができることを模索しながら、年長児に就学への不安を軽減できるようにしたい。

保育園自己点検表

令和2年度

運営管理

1	保育理念・基本方針を職員や保護者などに周知するために見やすい場所に掲示している	(A)・B・C・D・E
2	定期的な職員会議等を通して職員の資質向上、業務効率化や改善等に努めている	(A)・B・C・D・E
3	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	A・(B)・C・D・E

守秘義務

1	園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	(A)・B・C・D・E
2	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	(A)・B・C・D・E

安全・危機管理

1	事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる場所にある	(A)・B・C・D・E
2	外部からの侵入者に対し対応策がなされ訓練が行われている	(A)・B・C・D・E
3	緊急時のために医療機関等の連絡先等が明示されている	(A)・B・C・D・E
4	園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的実施している	A・(B)・C・D・E

保育環境

1	保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育ができるように努めている	A・(B)・C・D・E
2	室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している	(A)・B・C・D・E
3	季節の草花等を飾り、保育の中で園児が季節感を感じるような配慮を行っている	A・(B)・C・D・E
4	屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている	A・(B)・C・D・E

健康管理・衛生

1	園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され保育に反映させている	(A)・B・C・D・E
2	日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	(A)・B・C・D・E
3	玩具、遊具等については常に衛生的に保持している	A・(B)・C・D・E
4	SIDS（乳児突然死症候群）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	(A)・B・C・D・E

保育内容

1	全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している	(A)・B・C・D・E
2	園児に分かりやすい温かな言葉遣いで穏やかに話をしている	A・(B)・C・D・E
3	基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している	(A)・B・C・D・E
4	園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している	A・(B)・C・D・E
5	身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	A・(B)・C・D・E
6	園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている	(A)・B・C・D・E

食育

1	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	(A)・B・C・D・E
2	園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある	(A)・B・C・D・E
3	毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知られている	(A)・B・C・D・E
4	食物アレルギーのある園児は、栄養士と職員で密に連絡を取り除去食等で対応している	(A)・B・C・D・E

子育て支援・地域交流

1	園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている	(A)・B・C・D・E
2	虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている	(A)・B・C・D・E
3	保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A・B・(C)・D・E
4	中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全員が理解している	A・B・(C)・D・E

評価

- A・・・理想的な状態、達成できている状態 100%
- B・・・達成間近、取り組みなどを頑張っている状態 80～90%
- C・・・通常普通に行われている状態 70～80%
- D・・・頑張って取り組まなければいけない状態 40～50%
- E・・・ほとんど達成できていない状態 30%以下

保護者アンケート結果

先日はアンケートのご協力ありがとうございました。62家庭に配布し、36家庭から回答をいただいたので集計しました。

	内 容	満足	どちらかと言え ば満足	どちらかと言え ば不満	不満	
問 1	保育園の園目標や方針が知らされている。	1	2	3	未回答 1	
		26 / 36	9 / 36			
問 2	子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じる。	1	2	3	4	
		29 / 36	7 / 36			
問 3	個人情報の扱いについて、入園説明会等で説明され、守られている。	1	2	3	未回答 1	
		31 / 36	4 / 36			
問 4	意見や要望などへの対応ができています。	1	2	3	未回答 2	
		22 / 36	11 / 36	1 / 36		
問 5	園内外が清潔で心地よい空間となっている。	1	2	3	未回答 1	
		21 / 36	14 / 36			
問 6	子どもたちがのびのびと意見や意思が表現できるような保育が行われている。	1	2	3	4	
		29 / 36	7 / 36			
問 7	遊びを通して、友達や保育士との関わりが十分持てるよう配慮されている。	1	2	3	4	
		32 / 36	4 / 36			
問 8	子どもが落ち着いて過ごせるよう、保育室の雰囲気・おもちゃなどが工夫されている。	1	2	3	未回答 1	
		29 / 36	6 / 36			
問 9	給食が楽しく食べられるよう工夫されている。	1	2	3	4	
		31 / 36	5 / 36			
問 10	保育中の体調への気配りやケガ等に対して配慮されている。	1	2	3	4	未回答 1
		18 / 36	15 / 36	1 / 36	1 / 36	
問 11	感染症の発生状況や注意事項など健康に関して情報提供されている。	1	2	3	4	未回答 2
		20 / 36	10 / 36	3 / 36	1 / 36	
問 12	園の行事や保育の内容などが知らされている。	1	2	3	4	
		27 / 36	9 / 36			
問 13	特別の配慮《アレルギー等》が必要な場合の対応がされている。	1	2	3	未回答 2	
		29 / 36	5 / 36			
問 14	職員が子育て相談等、話しやすい雰囲気や態度で接している。	1	2	3	未回答 1	
		27 / 36	8 / 36			
問 15	保育園に対しての総合満足度は？	1	2	3	未回答 1	
		31 / 36	4 / 36			

その他、様々なご意見・ご要望をいただきました。職員一同しっかりと会議の中で議論し、今後の発展につなげていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

2020年度ひびき井土ヶ谷保育園 自己評価詳細

運営管理

- ・新型コロナウイルス感染防止対策に関して具体的な方法ややり方を検討し実践した一年だった。保護者にも保育の利用の仕方、お約束を示し理解してもらえるように様々な形で発信し、多くの協力を得ることができた。職員の健康管理、園内の毎日の消毒、保育の中での感染予防を徹底しながら過ごすことができた。
- ・園内の職員学習会では園長、主任、中堅保育士が講師になってテーマ別に学習会を開いた。学習会の中でグループディスカッションの機会を多く持ち、一人ひとりが受け身で終わらず主体性を持って参加することができた。
- ・保護者向けに「和朝食のすすめ」をテーマに年間を通して発信した。アンケートを取り現状を把握しなぜ和朝食が良いのか？を園側から発信したり、和朝食を実践している保護者から実際にやっている工夫や良いと実感している声を聞き取り、それを全体に発信するとともに園からのお勧めレシピを提示した。少しではあるが家庭の朝食に変化が見られて成果を感じる事ができた。
- ・緊急事態宣言中に登園できなかつた親子向けに、親子でできるあそびを発信した。職員で手作り工作キットを作り一週間ごとにメールでお知らせをして、欲しい方が取りに来られるようにし、毎日行っているリズム運動の音源をメールで送り家庭でも親子でリズム運動ができるようにした。また調理室からは親子でできるクッキングのレシピをメールで送った。登園できない間の親子の時間を有効に過ごせるように、保育園との繋がりを少しでも感じられるように工夫をした。

安全・危機管理

- ・新型コロナウイルス感染防止対策として園児、職員の手洗い、うがい、手指消毒、おもちゃ消毒、園内消毒を徹底した効果か、他の感染症が全く出なかった。

保育環境

- ・園内の網戸の下部がパネルで重いため、開閉がしにくくなってレールが傷つき、園児が踏んで足を怪我してしまった。レールの傷ついている部分を研磨し園内の網戸を全面的に軽い物に取り換えた。

保育内容

- ・新型コロナウイルス感染予防対策を取りながら保育の見直しをした。保育室の使い方の見直し、他クラスと合同にならない、異年齢保育をする時は少人数に分けてグループ単位で行う、子どもたちが配膳、食育を行う時はマスク着用、午睡時は頭と足を交互にする、行事は2学年ずつ分けて行う等の工夫をして、お楽しみ会は無観客にして保護者にはDVDを保育を見直すことで新たな発見があり良い面も多くあったので、良い点は継続し今後の新型コロナウイルスの状況によって最善の方法を模索していきたい。

食育

- ・コロナ対策をしながら食育を継続した。各クラスで野菜を育て収穫することができ、収穫物を使ってクッキングをしたり絵を描いたり、と活動に繋げることができた。乳児は野菜の皮むきやちぎることなどの経験をたくさんし上手になっていった。園で作った物を家庭でも親子で作って楽しむなどの姿があり、お手伝いをよくするようになった、という姿もあり良い影響を及ぼしている。

子育て支援・地域交流

- ・新型コロナウイルスの影響で施設開放に制限が入った時期は休止をした。それ以外の時期は例年通りの内容で交流保育、育児講座、園舎開放を行った。参加者は少人数だったが子どもの発達について、その時の悩みに個別に丁寧に応じることができた。
- ・近隣の陶芸の先生に5歳児が陶芸を教えていただいた。手指で土の感触を味わいながら思い思いに形を作り、個性豊かな作品ができた。地域の文化人との貴重なご縁を大切にしていきたい。

保育園自己点検表

2020年度

運営管理

1	保育理念・基本方針を職員や保護者などに周知するために見やすい場所に掲示している	Ⓐ・B・C・D・E
2	定期的な職員会議等を通して職員の資質向上、業務効率化や改善等に努めている	Ⓐ・B・C・D・E
3	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	Ⓐ・B・C・D・E

守秘義務

1	園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	Ⓐ・B・C・D・E
2	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	Ⓐ・B・C・D・E

安全・危機管理

1	事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができるところにある	Ⓐ・B・C・D・E
2	外部からの侵入者に対し対応策がなされ訓練が行われている	Ⓐ・B・C・D・E
3	緊急時のために医療機関等の連絡先等が明示されている	Ⓐ・B・C・D・E
4	園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的実施している	Ⓐ・B・C・D・E

保育環境

1	保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育ができるように努めている	A・Ⓑ・C・D・E
2	室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している	Ⓐ・B・C・D・E
3	季節の草花等を飾り、保育の中で園児が季節感を感じるような配慮を行っている	Ⓐ・B・C・D・E
4	屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている	Ⓐ・B・C・D・E

健康管理・衛生

1	園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され保育に反映させている	Ⓐ・B・C・D・E
2	日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	Ⓐ・B・C・D・E
3	玩具、遊具等については常に衛生的に保持している	Ⓐ・B・C・D・E
4	SIDS（乳児突然死症候群）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	Ⓐ・B・C・D・E

保育内容

1	全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している	A・Ⓑ・C・D・E
2	園児に分かりやすい温かな言葉遣いで穏やかに話をしている	Ⓐ・B・C・D・E
3	基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している	Ⓐ・B・C・D・E
4	園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している	Ⓐ・B・C・D・E
5	身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	Ⓐ・B・C・D・E
6	園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている	Ⓐ・B・C・D・E

食育

1	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	Ⓐ・B・C・D・E
2	園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある	Ⓐ・B・C・D・E
3	毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知られている	Ⓐ・B・C・D・E
4	食物アレルギーのある園児は、栄養士と職員で密に連絡を取り除去食等で対応している	Ⓐ・B・C・D・E

子育て支援・地域交流

1	園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている	A・B・Ⓒ・D・E
2	虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている	Ⓐ・B・C・D・E
3	保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A・B・C・Ⓓ・E
4	中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全員が理解している	Ⓐ・B・C・D・E

※コロナウィルスの影響で保護者の園内滞在時間が限られていた事と、保育参観ができなかった事でこのような評価となった。

評価

- A・・・理想的な状態、達成できている状態 100%
- B・・・達成間近、取り組みなどを頑張っている状態 80～90%
- C・・・通常普通に行われている状態 70～80%
- D・・・頑張って取り組まなければいけない状態 40～50%
- E・・・ほとんど達成できていない状態 30%以下

保護者アンケート結果

	内 容	満足	どちらかと言え ば満足	どちらかと言え ば不満	不満	無回答
問 1	保育園の園目標や方針が知らされている。	1	2	3	4	
		39/42	3/42			1
問 2	子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じる。	1	2	3	4	
		31/42	10/42	1/42		1
問 3	個人情報の扱いについて、入園説明会等で説明され、守られている。	1	2	3	4	
		39/43	4/43			
問 4	意見や要望などへの対応ができて いる。	1	2	3	4	
		32/42	10/42			1
問 5	園内外が清潔で心地よい空間とな っている。	1	2	3	4	
		37/43	6/43	1/40	1/40	
問 6	子どもたちがのびのびと意見や意 思が表現できるような保育が行わ れている。	1	2	3	4	
		34/42	8/42			1
問 7	遊びを通して、友達や保育士との 関わりが十分持てるよう配慮され ている。	1	2	3	4	
		34/43	9/43			
問 8	子どもが落ち着いて過ごせるよ う、保育室の雰囲気・おもちゃな どが工夫されている。	1	2	3	4	
		31/43	12/43			
問 9	給食が楽しく食べられるよう工夫 されている。	1	2	3	4	
		37/42	5/42			
問 10	保育中の体調への気配りやケガ等 に対して配慮されている。	1	2	3	4	
		11/43	12/43	1/43		
問 11	感染症の発生状況や注意事項など 健康に関して情報提供されてい る。	1	2	3	4	
		36/42	6/42			1
問 12	園の行事や保育の内容などが知ら されている。	1	2	3	4	
		33/43	8/43	1/43	1/43	
問 13	特別の配慮《アレルギー等》が必 要な場合の対応がされている。	1	2	3		
		36/43	7/43			
問 14	職員が子育て相談等、話しやすい 雰囲気や態度で接している。	1	2	3	4	
		34/43	7/43	1/43	1/43	
問 15	保育園に対しての総合満足度は？	1	2	3	4	
		35/43	7/43	1/43		

ひびき金港町保育園令和2年度自己点検・自己評価

※今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かしていきたいと思ひます。

- ・A・B・C・D の4段階評価をします。
- ・項目ごとに、意見・改善策を記述しています。

A: たいへんよい
 B: よい
 C: 一部検討を要する
 D: 改善を要する

☆保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	A	B	C	D	意見・改善策
保育目標について	(1) 保育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			早寝早起きなど子どもの成長に必要な生活リズムを整える事を中心に子どもたちの実態を踏まえ目標を設定した。
	(2) 目標は社会要請や保護者の願いを反映しているか。		○			保護者懇談の際の要望や地域の情報を受けとめ各クラスの目標に生かすようにした。
	(3) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				会議などで保育目標について確認し共通理解を図った。
保育について	(1) 指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				年間計画・月案・週案など各クラス子どもの成長を見ながら毎月振り返りを行い作成した。
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を工夫しているか。	○				子どもたちの遊びを保障し、生活しやすい環境づくりを意識し工夫した。
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				活用して物作りなどを行っている。
	(4) 評価結果を基に、保育改善に努めているか。	○				毎月振り返り、月案に反映させて改善につなげた。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			感染症予防のため変更があった。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			行事の前の会議では、ねらいを必ず話し合うようにし、計画に生かせるようにした。
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			クラスごとで発達にあった取り組みを行った。
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				行事後に会議などで反省し、次年度に生かすようにした。
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			運動会・作品展で保護者アンケートを実施したので今後生かしていく。

☆保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	A	B	C	D	意見・改善策
経営・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				経験年数に合わせ、会議を行う、役割を担う、など組織的な運営を行った。
	(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○				職員ノートでインフォメーションを随時行い協働した。
	(3) 職員の配置は適材・適所か。	○				適材・適所であった。
	(4) 係や仕事分担・割り当ては適切か。	○				係・担当役を決め、役割を明確にした。
組織運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			感染症拡大防止の理由から少人数での会議で伝達を徹底した。
	(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				できる限りのことは行った。
	(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			限りある時間の中でできるだけのことは行った。内容について今後もさらに検討

項目	内容	A	B	C	D	意見・改善策	
経営・組織	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				保育目標・重点目標に基き各クラス年間の目標を設定している。
		(2) 年齢別・クラス目標は・乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				月齢差や環境の変化などに考慮しながら設定をしている。
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				各クラス毎月の会議で子どもの実態に合わせ、ねらいの見直しを行った。
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			感染症拡大防止の観点から異年齢保育は十分に実施できなかった。
		(5) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。	○				全体会議録・クラス会議録など必ず書き集積した。年間・月間計画に評価を集積
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				感染症予防のための保健指導と手洗い・うがい・規則正しい生活の実践を促した
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				計画に基づいて実施した。
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				感染症のお知らせなどの掲示・毎月の保健だよりなどで健康への啓発を行った。
	所内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○			園の特色ある保育について学び保育の計画に反映させた。
		(2) 園内研修の計画・運営は適切か。		○			感染症対策のため実施できなかった。新たに計画の検討が必要。
(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。			○			手遊び・わらべ歌・リズム遊びなど日常の保育に生かせることができた。	
研究・研修	所外研究・研修	(1) 各種研究会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になる研修が多かったため、参加が出来なかった。
		(2) 各種研究会、講習会での内容を園内に還元しているか。		○			研修報告書を作成し、報告は会議に盛り込んだ。

まとめ

◎子どもたちの安全面に留意し事故なく過ごすこと、また、情緒の安定を図るとともに心身の健康を保障し、日々楽しく遊び生活できる保育を目指し実践した。

◎新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言を受け、家庭保育の協力をお願いするということかつて経験したことのない事態に直面した。理解を得るとともに休み中の子どもたちの様子など職員全員で気づかい行動した。マスクや消毒液など不足物資の寄付や励ましの言葉など保護者の皆さんにたくさんのご理解とご協力をいただいた。

◎感染症対策のため、子どもたちへの保健指導を行うとともに、床やおもちゃ、手が届く場所への消毒作業を徹底して行った。また、密を避けるため行事の内容を変更しなければならなかったが、コロナだからできなかったという事がないように検討し工夫しながら行った。

◎困難な中でも保育士それぞれが真剣に保育に取り組んだ。子どもの年齢発達に合った生活や活動内容を取り入れ子どもたちと一緒にやりたいことに取り組んだ。悩んだ時には周囲に相談することを心がけ保育の専門書などでの学習をしながら真摯に子どもたちに向き合った。

◎子どもの人権を尊重し、一人ひとりの思いに寄り添いながら丁寧に保育をすることを心がけた。